

まちの あれこれ

池田町第六次総合計画を 審議会が町長に答申

1月30日（木）、池田町役場で第6回計画審議会を開催しました。会議の後、池田町第六次総合計画案を審議してきた計画審議会は、岩谷会長より岡崎町長へ答申を行いました。

今後10年間でまちが目指す方針を定めた「池田町第六次総合計画」では、将来像として「ぬくもりがあふれるまち 池田町」ふれあいが未来を育む、人と人がつながり合い成長する都市へ「」を掲げ、理念を「未来・元氣・活氣・快適・経営」の5つとし、各分野を達成するための施策や事業計画の内容となっています。

岩谷会長から「町民と一体となって力強いまちづくりを進めることを願う。」と述べられ、町長からは「人口が減少しても持続可能な町、町民が住んで良かったと思える町を目指したい。」と語りました。

計画書は、3月に完成予定です。



▲第6回計画審議会にて



▲審議会の岩谷会長から岡崎町長へ答申

池田中学校夢交付金事業 「15年後の私」

池田中学校3年生が取り組んでいるキャリア教育において培った体験・知識から、将来の自分がどんな大人になっているかを想像し、将来の自分に向けた手紙を書いてもらいました。その手紙を町が預かり、263人の卒業生が成人した際にお渡しします。生徒を代表して、後期生徒会長中井 泰さん、後期副生徒会長岩井 旭さんが2月6日（木）に、町長へ手紙を渡しました。町長からは、将来に向かって羽ばたく卒業生に対して図書カード1人1万円分を贈呈しました。生徒へは、3月6日（金）贈呈予定です。



▲町長から目録を受け取る代表の方

「養老鉄道に乗って伊勢神宮初詣」 池田町養老鉄道の永続を進める会

1月28日（火）、「養老鉄道に乗って伊勢神宮初詣に行こう！」を実施しました。

これは、養老線利用促進・活性化事業の一環として、池田町区長連合会と池田シニアクラブから協力をいただき、「池田町養老鉄道の永続を進める会」が実施した行事です。

今年は191人の参加者が列車3車両に分乗し、お弁当をいただきながら伊勢神宮までの列車旅を楽しんでいました。

帰りの車内では「養老鉄道みそせんべい」や「黒糖ふ菓子」などの車内販売があり、養老鉄道支援のために多くの皆さんが購入されていました。



▲伊勢神宮初詣用の貸し切り列車